

ZA-KOENJI Documentary Festival Vol. 12

新しい傑作を発掘する。

Call for Entries Competition

特集

”時間”を
記録する



全国からドキュメンタリー作品を公募します。
入賞作品は、フェスティバル期間中に上映します。
既成概念にとらわれない、
自由で力強い作品を求めます。

コンペティション部門作品募集

「座・高円寺」
ドキュメンタリー
フェスティバル

募集期間：2020年 10月1日[木] ~ 11月30日[月]

開催期日：2021年2月10日[水] ~ 14日[日]

会場：座・高円寺2 (杉並区立杉並芸術会館)

主催：座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会

共催：(株)ドキュメンタリージャパン

提携：NPO法人 劇場創造ネットワーク / 座・高円寺

[ゲスト・セレクター(予定)]

井浦新 俳優

森達也 作家・映画監督

是枝裕和 映画監督

ほか

※ 特集上映「ゲスト・セレクション上映」「コンペティション部門上映」の作品ラインナップ、チケット料金は、12月に発表予定。

Photo by Frame Harinak on Unsplash

コンペティション部門 | 募集要綱[要旨]

募集期間:2020年10月1日[木]~11月30日[月](当日消印有効)

詳細は必ずホームページ[http://zkdf.net]でご確認下さい。

ZA-KOENJI
Documentary
Festival
vol.12

「座・高円寺」
ドキュメンタリー
フェスティバル

応募作品規定

- ◆ドキュメンタリー映画、文化映画、記録映画、科学映画、教育映画、TV番組など。フィクション(劇映画・ドラマ)やアニメは不可。
- ◆作品尺は問いません。
- ◆制作年次が過去3年以内のもの(2017年以降に制作したもの)に限ります。ただし、過去3年以内に編集もしくは再編集したものは可。
※第1回~第11回「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」に応募した作品は不可。
- ◆応募点数の制限はありません。
- ◆日本語以外の言語で制作された作品には、必ず日本語の字幕を添えてご応募下さい。
- ◆応募形態は、DVDでご応募下さい。
- ◆複数作品を応募する場合は、1作品ごとにDVDをわけて下さい。(1枚のDVDに1作品)
- ◆リージョンコード2またはリージョンフリー、コピーガード無しでご応募ください。

応募料

- ◆応募作品1点につき、2,000円。郵便為替(2,000円分)を、同封して応募してください。
※郵便為替には、何も記入しないでください。

応募にあたっての注意事項(著作権について)

- 応募作品は、その著作権が応募者本人に帰属するものでなければなりません。
- 入賞作品に選ばれた場合、期間中に上映しますので、応募にあたっては、作品に使用した既成の音楽や映像の著作権について、使用許諾・使用料等、必要な著作権処理の手続きを済ませた上でご応募ください。

応募者資格

- ◆年齢、国籍、性別、個人、グループ、プロ・アマを問いません。

応募方法

- ◆以下を明記した用紙を添付のうえ、募集期間内に事務局にお送り下さい。

- ①応募作品の題名(フリガナ)
- ②作品の映写時間
- ③応募者の氏名(フリガナ)団体の場合は、団体名および代表者氏名
- ④応募者の住所
- ⑤連絡先電話番号/FAX番号
- ⑥メール連絡できる場合は、メールアドレス
- ⑦作品解説(簡単な概略・制作意図など)800字程度

選考について

- ◆応募作品の選考は「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル コンペティション部門」選考会により行います。
- ◆応募作品の中からコンペティション部門入賞作品を選考します。
- ◆また入賞作品の中から「大賞」1作品を選考します。
大賞の選考は「第12回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」の期間中、(2021年2月10日~14日)に行います。

上映・発表・表彰について

- ◆「入賞作品」は、「第11回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」、(2021年2月10日~14日)開催において上映します。
- ◆「大賞」作品の発表および表彰は、「第12回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」期間中に行います。

賞および特典

- ◆大賞:賞金10万円
- ◆入賞作品については制作者(1名)をゲストとして「第12回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」に招待します。

応募先

座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会「コンペティション部門」事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-20 | 電話:03(5570)3551 | Fax:03(5570)3550
和晃ビル1階(株)ドキュメンタリージャパン | Mail:za.koenji.documentary@gmail.com

過去のコンペティション部門入賞作品

第1回 | 2010年

- 【大賞】「国旗の下に」(監督:大須賀康之・根来知宏/製作:藤田修平研究室)
- 【入賞】「ナナイの涙 ~米兵が残した命の物語~」
(監督:中井信介/製作:手わたしプレス)
「GOD AND FATHER AND ME」(監督:鈴木光)
「路上のカルテ」(演出:風華隆宏/製作:東海テレビ放送)
「終わらな旅」(企画・取材・構成:梅崎陽)

第2回 | 2011年

- 【大賞】該当なし
- 【観客賞】「幸せな時間」(監督:横山善太)
- 【奨励賞】「私」を生きる」
(監督:土井敏邦/製作:「私」を生きる制作実行委員会)
「しみじみと歩いてる」(監督:島田曉)
- 【入賞】「ガジラの青春」(監督:松本壮史)

第3回 | 2012年

- 【大賞】「僕たちは見た ~ガザ・サムニ家の子供たち~」
(監督:古居みずえ/製作:アジアプレス・インターナショナル)
- 【入賞】「三人の酒蔵 ~社長とナナさんとウエキの冬~」
(ディレクター:豊島学忠/製作:関西テレビ放送)
「相馬看花 第一部 奪われた土地の記録」(監督:松林要樹)
「Coming Out Story」(監督:梅沢圭/製作:日本映画学校)

第4回 | 2013年

- 【大賞】「標的の村~国に訴えられた東村・高江の住民たち~」
(ディレクター:三上智恵/製作:琉球朝日放送)
- 【新人賞】「菅野結花」(「きょうを守る」監督・撮影・編集)
- 【入賞】「さなぎ~学校に行きたくない~」
(監督:三浦淳子/製作:クロスフィット、トリステロ・フィルムズ)
「放射線を浴びたX年後」(監督:伊東英朗/製作:南海放送)

第5回 | 2014年

- 【大賞】「祖父の日記帳と私のビデオノート」(監督:久保田桂子)
- 【入賞】「加藤くんからのメッセージ」(監督:綿毛)
「和ちゃんとオレ」(監督:青絹袖/製作:テレビ東京)
「桃と小桃とこもも丸」(監督:新部貴弘)
「飯館村 わたしの記録」(監督:長谷川健一)

第6回 | 2015年

- 【大賞】「イラク チクリスに浮かぶ平和」
(監督:綿井健陽/製作:ソネットエンタテインメント)
- 【入賞】「沖縄/大和」(監督:比嘉賢多)
「ヘイトスピーチ」(監督:佐々木航弥)
「風和里~平成の駄菓子屋物語~」(監督:田中健太)

第7回 | 2016年

- 【大賞】「沖縄 うりずんの雨」
(監督:ジャン・ユンカーマン/製作:山上徹二郎、前澤哲爾、前澤真理子)
- 【入賞】「ETV特集 沈黙を破る手紙~戦後70年目のシベリア抑留」
(ディレクター:松原翔/製作:NHK京都)
「サムライと愚か者 -オリンパス事件の全貌-」(監督:山本兵衛)
「たゆまないから」(監督:阿部周一)
「チョコレートケーキと法隆寺」(監督:向井啓太)

第8回 | 2017年

- 【大賞】該当なし
- 【奨励賞】「リアルマリオ。~空想と現実の間で~」
(ディレクター:下野賢志/製作:CBCテレビ)
「彼らの原尻」(製作:監督:川口勉)
- 【入賞】「ひいくんのあるく町」(監督:青柳拓)
「ほくの、メリット」(監督:武藤久/製作:南日本放送)
「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」(監督:古居みずえ)

第9回 | 2018年

- 【大賞】「山河の子」(監督:胡旭彤)
- 【入賞】「(未来世紀ジパング特別編) 巨大中国と戦う「民主の女神」
~香港オタク少女の青春日記~」(監督:中村航/製作:BSジャパン)
「(ETV特集) その名は、キリヤークニヶ崎 職業 大道芸人」
(ディレクター:松原翔 製作:NHK)
「選挙に出たい」(監督:撮影・編集:那非)
「Life 生きてゆく」(監督:笠井千晶/製作:想い願うプロジェクト)

第10回 | 2019年

- 【大賞】「ヤメ暴 ~漂流する暴力団離脱者たち'18」
(ディレクター:下野賢志/制作:CBCテレビ)
- 【入賞】「キルギス共和国ナリン:冬」(監督・構成:桑山篤)
「Danchi Woman」(監督:杉本暁子)
「つれ潮」(撮影・録音・編集:山内光枝)
「ラーマのつぶやき ~この社会の片隅で~」
(撮影・ディレクター:松原翔/製作:NHK)

第11回 | 2020年

- 【大賞】「蟹の惑星」(監督:村上浩康)
- 【奨励賞】「MOTHERS」(監督:岡麻衣子)
- 【入賞】「えんとこの歌 ~寝たきり歌人・遠藤 滋~」(監督:伊勢真一)
「クイア・ジャパン」(監督:グレアム・コルビーンズ)
「人生をしまう時間(とき)」(監督:下村幸子)